## 大塚賞アルムナイネットワークとは

大塚賞アルムナイは、多方面で活躍する受賞者とその活動を支える関係者によるネットワークです。
交流や情報共有を通じて、大学の枠を超えた女性研究者のキャリア形成を支援します。

### 北海道大学 ダイバーシティ＆インクルージョン推進宣言

（一部抜粋）

北海道大学は誰一人取り残さず、人種、国籍、肌の色、言語、民族、出自、宗教、信条、性別、性的指向、性自認、ライフイベント、年齢、障害、外見・容姿、ライフスタイル、その他いっさいの個人の事由に関わらず、すべての構成員の尊厳が守られ、ひとりひとりが誇りを持ち、互いを尊重する大学環境を目指します。

（D&I 推進宣言全文はコチラ）

北海道大学
ダイバーシティ・
インクルージョン推進本部
Office of Diversity, Equity, and Inclusion

詳細は、ダイバーシティ・
インクルージョン推進本部
Webサイトをご覧ください
https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/29220/

北海道大学 150th HOKKAIDO UNIVERSITY　北海道大学創基 150 周年記念事業

# DEIシンポジウム × 大塚賞アルムナイ

Diversity, Equity, and Inclusion



## 私たちがつくる未来、私がつくる未来

2026 11/7 Sat 14:00 -16:00

会場 北海道大学　学術交流会館 講堂

## Program

| | | |
|---|---|---|
| 第一部 | オープニング動画上映 | 叩けば、ドアは開かれる　ー　女性研究者たちが切り拓いた知の未来 |
| | 開会のご挨拶 | 北海道大学理事・副学長<br>ダイバーシティ・インクルージョン推進本部　本部長<br>石塚　真由美 |
| | 基調講演 | 自分にしかできないことを - チャレンジから切り拓く未来 -<br>三浦法律事務所弁護士 /OnBoard 株式会社 CEO<br>越　直美氏 |
| | 休　　憩 | |
| 第二部 | パネルディスカッション | テーマ 女性研究者の活躍と、ともに描く未来 |
| | 閉会のご挨拶 | 北海道大学理事・副学長<br>網塚　浩 |

主催：北海道大学 ダイバーシティ・インクルージョン推進本部
共催：北海道大学 学務部　後援：工学女性増加プロジェクト「We are Engine.」

## 「北海道大学 大塚賞」とは

*What is the Hokkaido University Otsuka Award?*

大塚賞は、本学名誉教授の大塚榮子先生の功績を称え、研究者を志す優秀な女子学生を支援する奨励金制度です。本学における男女参画事業の一環として、研究者を目指す優秀な女子学生育成のため2005年に設けられました。

対象は、本学に在籍する大学院博士後期課程および博士一貫課程の最終年次学生で、研究者を目指し当該年度内に修了する女子学生です。学院長（研究科長を含む）からの推薦を受け、大塚賞候補者選考委員会で審査したうえで、総長が受賞者を決定します。

これまでに210名が受賞し、本学博士課程修了後は、本学のみならず国内外の大学・企業・研究機関・国や自治体など、幅広い分野で第一線の活躍を続けています。

*Keynote Address*

## 基調講演



### 自分にしかできないことを

―チャレンジから切り拓く未来―

*Naomi Koshi*

### 越 直美氏

三浦法律事務所 弁護士／OnBoard株式会社 CEO

**Profile**

西村あさひ法律事務所などを経て、2012年から20年まで大津市長。当時最年少の女性市長として、待機児童ゼロや人口増加を達成。現在は三浦法律事務所パートナーとして、日米クロスボーダー取引、公民連携に注力。OnBoard株式会社CEOとして、女性役員の育成・紹介。ソフトバンク社外取締役、三菱総研社外監査役。北海道大学法学部卒業、北海道大学大学院法学研究科修士課程修了、ハーバード大学ロースクール修了。日本・ニューヨーク州・カリフォルニア州弁護士。日経電子版Think!で政治経済についてコメントしている。

## パネルディスカッション

*Panel Discussion*

### 女性研究者の活躍と、ともに描く未来

#### 登壇者

**Profile**

2010年北大院工学博士取得、清水建設入社。オフィス空調の快適性・省エネ研究開発に従事。2015年出産・育休後復職。現在カーボンニュートラル技術センター・ウエルビーインググループ長、人財戦略部主査兼務。産学官連携で交流支援研究とマネジメントを行い、いきいき働ける環境づくりを目指す。帯広市出身。



*Saya Ameniya*

**雨宮 沙耶氏**

清水建設 株式会社 技術研究所
カーボンニュートラル技術センター

*Motoko Kawaguchi*

**川口 幹子氏**

一般社団法人 対馬里山繋営塾
代表理事



**Profile**

1979年青森市生まれ。北大院環境科学院博士修了。学振特別研究員等を経て2011年対馬で地域おこし協力隊。任期後、市の政策支援や市の体験・滞在型観光の推進を担う。2018年旅行会社として対馬里山繋営塾設立、エコ・スタディーツーリズムを展開。2024年から（株）Blue Ocean Tsushima代表も兼務し海洋ごみ問題解決に取り組む。

**Profile**

高校時代をイギリスで過ごした後、北大文Ⅲに入学、94年法学部進学。マサチューセッツ大留学や英語教員免許取得を経て1996年卒業、札幌市高校教員となる。結婚・出産・離婚後、休職しトロント大院に子連れ進学、MA取得。2010年復職、在職のまま2011年北大国際広報メディア・観光学院博士後期課程入学、その後、北海道文教大で大学教員開始。2019年博士（学術）取得・大塚賞受賞、2020年より現職。家族・仲間・恩師に支えられ、学生と研究に恵まれた今が一番幸せ。



*Aiko Sano*

**佐野 愛子氏**

立命館大学 文学部・
言語教育情報研究科 教授

*Atsuko Ikeda*

**池田 敦子氏**

北海道大学 大学院
保健科学研究院 教授



**Profile**

1992年東京理科大基礎工卒、万有製薬つくば研究所入社。退職し2000年からシンガポール在住。2004年帰国後、2006年北大院医学修士入学、2011年博士短縮修了（大塚賞）。同年北大特任助教、2021年保健科学研究院教授、2026年総長補佐。環境・子どもの健康コホート等を研究。「研究は楽しい」を伝えたい。

**Profile**

2004年北大獣医学部卒。2008年博士課程修了（大塚賞）。学振特別研究員、助教、講師、准教授を経て2024年より教授。学生時代から28年間北大に在籍。褐色脂肪組織の研究を続け、近年は長年の夢だった冬眠研究を本格的に開始して熱中している。



*Yuko Okamatsu*

**岡松 優子氏**

北海道大学 大学院
獣医学研究院 教授